

令和3年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人ほほえみ	代表者	上野 利恵子	法人・事業所の特徴	小規模多機能ホームなごみでは、介護が必要な状態になった時でも住み慣れた地域での生活を維持していただけるよう、「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせてサービスを提供します。また、サービス付き高齢者向け住宅を併設し、小規模多機能のサービスと組み合わせて24時間安心した生活を提供していきます。
事業所名	小規模多機能ホームなごみ	管理者	香月 義巨		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	12人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新入職員を含む全ての職員に外部評価に関する講習を行い内容の充実と精度の向上に努めます。	新入職員に対して外部評価に関する講習を行いました。	スタッフ一人一人が評価をして、出来ている点と出来ていない点を挙げた上で改善策まで検討出来ています。	新入職員を含む全ての職員に外部評価に関する講習を行います。事業所運営をより良く出来る様に外部評価を充実させます。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所へ地域の方々がいつ訪れても心地良いと思ってくれる環境の維持に努めます。	地域の方々や事業所を利用している利用者様やその御家族様がいつ訪れても心地良いと感じて頂ける様に整理整頓、清掃を心掛けました。	利用者様の生活しやすい環境づくりに日々努力をされていると感じることが出来ます。	利用者様やその御家族様、地域の方々がいつ訪れても心地良いと思ってくれる環境作りに取り組みます。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所は法人内の相談窓口の一つとして、地域からの相談への対応を行っています。	地域住民から利用検討や施設見学等の相談があった場合は、感染対策を十分行いつつ対応を行って行きました。	特に挙がりませんでした	事業所は法人内の相談窓口の一つとして、地域からの相談への対応を新型コロナウイルス感染防止に努めながら迅速かつ適切に行って行きます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、可能になれば地域行事への参加や地域の社会資源活用の為の連絡調整や付き添い等必要な支援を行います。	新型コロナウイルス蔓延の影響に伴い、地域行事への参加は出来ませんでした。地域の社会資源活用の為の連絡調整や付き添い等の支援は感染対策を十分のものと行いました。	特に挙がりませんでした。	新型コロナウイルス感染防止に努めながら可能な限り地域行事へ参加や地域の社会資源の為の連絡調整や付き添い等必要な支援を行います。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の中で地域の方々の困りごとや相談等、意見を可能な限り収集し、解決に向けた取組みを継続して行きます。	新型コロナウイルス蔓延の影響で1回のみ運営推進会議の対面開催を実施しました。書面開催に関しては文書で御意見を頂いた際には事業所の運営に反映させて頂きました。	特に挙がりませんでした。	運営推進会議の中で利用者様の実態を発信して行きます。また地域の方々の御意見を収集して、解決及び事業所運営に反映させて行きます。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議の中で防災計画の内容や防災訓練についての情報を地域の方々に向けて発信して行きます。	運営推進会議の書面開催にて、文書で防災計画の内容や防災訓練についての情報を発信しました。	特に挙がりませんでした。	運営推進会議の中で防災計画の内容や防災訓練についての情報、実際に発生した風水害に対する取組みを地域の方々に向けて発信して行きます。

